

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 27 年 7 月 30 日 (2015.7.30)

【公表番号】特表 2014-531375 (P2014-531375A)
 【公表日】平成 26 年 11 月 27 日 (2014.11.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-065
 【出願番号】特願 2014-526528 (P2014-526528)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 75/38 (2006.01)

F 1 6 B 7/14 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 75/38 J

F 1 6 B 7/14 F

F 1 6 B 7/14 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 6 月 12 日 (2015.6.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

入れ子式離隔梁によってある水平距離だけ離隔した 2 つの側枠体を含み、各枠体は、ケーブル管またはホース用の巻胴を支持する支持体上に軸棒を有し、前記入れ子式離隔梁は、少なくとも 1 つの外側管および少なくとも 1 つの内側管を含み、該内外側両管は互いに入れ子式で摺動可能になっていて、さらに、前記外側管と前記内側管の間に位置して該外側管および内側管を可調節位置にロックするロック装置を含むスプリング装置において、該ロック装置は、前記内側管の全長の一部にわたって延伸し該内側管を管区分に分割する前記内側管の分割部と、該内側管の分割部に拡張力を生成して前記管区分を前記外側管の内表面に押圧する力部材とを含むことを特徴とするスプリング装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のスプリング装置において、前記外側管および内側管は角型管であることを特徴とするスプリング装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のスプリング装置において、前記内側管は、垂直軸方向において 2 つの管区分に分割されていることを特徴とするスプリング装置。

【請求項 4】

請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載のスプリング装置において、前記力部材は、拡張可能なバッグ部材、油圧もしくは電動シリンダ、または楔機構を含むことを特徴とするスプリング装置。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のスプリング装置において、該スプリング装置は、前記内側および外側管を横方向に案内する案内ロールを特徴とするスプリング装置。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載のスプリング装置において、該スプリング装置は、前記外側管の内側にあつて前記内側管を該外側管において垂直方向に案内する平たいバーを特徴とするスプリング装置。

【請求項 7】

請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載のスプーリング装置において、該スプーリング装置には、前記内側管の少なくとも一部にわたって延伸するバーがあり、該バーは、前記外側管の内側隅に係合していることを特徴とするスプーリング装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のスプーリング装置において、前記バーは半角型バーであることを特徴とするスプーリング装置。